

設置年度 令和 3年度
計画の区分： 学部の学科の設置

届出

三重短期大学

食物栄養学科 食物栄養学専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

津市

令和3年5月1日現在

作成担当者

大学総務課

カチョウ 課長 タナカ ヒサノリ
田中 久智

電話番号 059-232-2341

(夜間) 059-232-2341

e-mail 232-2341@city.tsu.lg.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜食物栄養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

津市

(2) 大学名 三重短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒514-0112
三重県津市一身田中野157番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
設置者 (津市長)	(マエノタクシ) 前葉 泰幸 (平成31年4月)		
学長	(ムライミヨ) 村井 美代子 (平成31年4月)		
学部長	—		
学科長等	(ハシモトヒロキ) 橋本 博行 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
食物栄養学科 短期大学士 (食物栄養学)	家政関係	年 2	人 50	年次 人	人 100		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度								平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50人 () [-]	一人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.84倍	-倍	
志願者数	73 () [-]	一人 () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	71 () [-]	一人 () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	68 () [-]	一人 () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	42 () [-]	一人 () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.84												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度								備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	42 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	42 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	42 人	0 人	令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
合計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食物栄養学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語Ⅰ	1・2通	2								兼3
	ドイツ語Ⅰ	1・2通	2								兼2
	フランス語Ⅰ	1・2通	2								兼1
	中国語Ⅰ	1・2通	2								兼1
	小計(4科目)	-	0	8	0						
基礎専修	食物栄養学入門	1前	2			2	1	2	3	0	
	小計(1科目)	-	2	0	0						
小計(5科目)	-	2	8	0	2	1	2	3	0		兼7
共通科目	体育講義	1・2後	2								兼1
	体育実技	1・2前	1								兼1
	生命科学	1・2前	2								兼1
	自然と科学	1・2前	2								兼1
	プログラミング基礎	1・2後	2								兼1
	情報と社会	1・2前	2								兼1
	情報処理実習Ⅰ	1・2前/後	1								兼3
	情報処理実習Ⅱ	1・2後	1								兼1
	心理学	1・2後	2								兼1
	環境論	1・2前	2								兼1
	教育学	1・2前	2								兼1
	生涯学習論	1・2後	2								兼1
	差別と人権	1・2後	2								兼1
	ジェンダー論	1・2前	2								兼1
	歴史学	1・2前	2								兼1
	地理学	1・2後	2								兼1
	哲学	1・2後	2								兼1
	文学Ⅰ	1・2前	2								兼1
	文学Ⅱ	1・2後	2								兼1
	美学	1・2後	2								兼1
	比較文化論	1・2前	2								兼1
	英会話	1・2通	2								兼1
	英語講読	1・2通	2								兼1
	実用英語	1・2通	2								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2通	2								兼1
	フランス語Ⅱ	1・2通	2								兼1
	中国語Ⅱ	1・2通	2								兼1
	地域史	1・2前	2								兼1
	自治体行政特論	1・2前	2								兼1
	農林体験セミナー	1・2前	2								兼1
	キャリア形成セミナー	1・2前	2								兼1
	単位互換科目Ⅰ	1・2前/後	2								兼1
	単位互換科目Ⅱ	1・2前/後	2								兼1
	社会体験講座	当面の間、不開講	2								兼1
	食と観光実践	1・2前	2								兼1
	次世代産業実践	1・2後	2								兼1
	医療・健康・福祉実	1・2前	2								兼1
小計(37科目)	-	0	71	0							兼39

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語Ⅰ	1・2通	2								兼3
	ドイツ語Ⅰ	1・2通	2								兼2
	フランス語Ⅰ	1・2通	2								兼1
	中国語Ⅰ	1・2通	2								兼1
	小計(4科目)	-	0	8	0						
基礎専修	食物栄養学入門	1前	2			2	2	1	3	0	
	小計(1科目)	-	2	0	0						
小計(5科目)	-	2	8	0	2	2	1	3	0		兼7
共通科目	体育講義	1・2後	2								兼1
	体育実技	1・2後	1								兼1
	生命科学	1・2前	2								兼1
	自然と科学	1・2前	2								兼1
	プログラミング基礎	1・2後	2								兼1
	情報と社会	1・2前	2								兼1
	情報処理実習Ⅰ	1・2前/後	1								兼4
	情報処理実習Ⅱ	1・2後	1								兼1
	心理学	1・2前	2								兼1
	環境論	1・2前	2								兼1
	教育学	1・2前	2								兼1
	生涯学習論	1・2後	2								兼1
	差別と人権	1・2後	2								兼1
	ジェンダー論	1・2前	2								兼1
	歴史学	1・2前	2								兼1
	地理学	1・2後	2								兼1
	哲学	1・2後	2								兼1
	文学Ⅰ	1・2前	2								兼1
	文学Ⅱ	1・2後	2								兼1
	美学	1・2後	2								兼1
	比較文化論	1・2前	2								兼1
	英会話	1・2通	2								兼1
	英語講読	1・2通	2								兼1
	実用英語	1・2通	2								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2通	2								兼1
	フランス語Ⅱ	1・2通	2								兼1
	中国語Ⅱ	1・2通	2								兼1
	地域史	1・2前	2								兼1
	自治体行政特論	1・2前	2								兼1
	農林体験セミナー	1・2前	2								兼1
	キャリア形成セミナー	1・2前	2								兼1
	単位互換科目Ⅰ	1・2前/後	2								兼1
	単位互換科目Ⅱ	1・2前/後	2								兼1
	社会体験講座	当面の間、不開講	2								兼1
	食と観光実践	1・2後	2								兼1
	次世代産業実践	1・2後	2								兼1
	医療・健康・福祉実	1・2前	2								兼1
小計(37科目)	-	0	71	0							兼40

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専修科目	社会生活と健康	公衆衛生学	2前	2								兼1	
		社会福祉論	2前	2								兼1	
		小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	人体の構造と機能	解剖生理学	1・2前	2					1				
		解剖生理学実験	2後		1					1	1		
		運動保健学	2後		2					1			
		病態学(臨床病態学)	1・2後		2								兼1
		生化学	1・2前		2					1			
		生化学実験	1・2前		1					1	1		
		小計(6科目)	—	2	8	0	0	0	5	2	0	0	兼1
	食品と衛生	食品学総論	1・2前	2			1						
		食品学実験	1・2前		1		1				1		
		食品学各論	1・2前		2		1						
食品加工学		1・2後		2								兼1	
食品の機能		2後		2		1							
食品衛生学		1・2後		2		1							
食品衛生学実験		1・2後		1		1				1			
	小計(7科目)	—	2	10	0	6	0	0	2	0	0	兼1	
栄養と健康	栄養学	1・2後	2					1					
	栄養学実験	1・2後		1					1	1			
	応用栄養学Ⅰ	2前		2					1				
	応用栄養学Ⅱ	2前		2					1				
	応用栄養学実習	2後		1					1	1			
	臨床栄養学	2前		2								兼1	
	臨床栄養学実習	2前		1						1		兼1	
	小計(7科目)	—	2	9	0	0	0	5	3	0	0	兼2	
栄養の指導	栄養教育論	1・2前	2			1							
	栄養指導論	1・2後		2		1							
	栄養教育論実習	2前		1		1				1			
	栄養指導論実習	2後		1		1				1			
	公衆栄養学	2後		2								兼1	
	小計(5科目)	—	2	6	0	4	0	0	2	0	0	兼1	
給食の運営	給食運営管理論	1・2後		2			1						
	給食運営管理論実習Ⅰ	2前		2			1			2			
	給食運営管理論実習Ⅱ	2通		1		1	1			2			
	給食運営管理論実習Ⅲ	2通		1		1	1			2			
	給食運営総合指導	1・2前		2						1		兼1	
	調理学	1・2前		2			1						
	調理学実習Ⅰ	1・2前		1						1		兼1	
調理学実習Ⅱ	1・2後		1			1			1				
	小計(8科目)	—	3	9	0	2	6	0	9	0	0	兼2	
関連科目	統計学	1・2前		2								兼1	
	化学	1・2前		2								兼1	
	健康管理概論	2後		2				1					
	管理栄養特殊講義	2後		2		2	2	1	3			兼2	
	特別演習	2通		4		2	2	1	3				
	小計(5科目)	—	0	12	0	4	4	3	6	0	0	兼4	
	中計(40科目)	—	11	58	0	16	10	13	24	0	0	兼13	
	合計(82科目)	—	13	137	0	18	12	15	27	0	0	兼59	
卒業要件及び履修方法													
必修科目13単位、語学基礎2単位以上、語学基礎と共通科目から合計14単位以上、専修科目48単位以上を修得し、合計64単位以上を修得する。 2年次において科目区分を問わず合計20単位以上を修得する。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専修科目	社会生活と健康	公衆衛生学	2前	2								兼1	
		社会福祉論	2後	2								兼1	
		小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人体の構造と機能	解剖生理学	1・2前	2						1			
		解剖生理学実験	2後		1						1		
		運動保健学	2後		2						1		
		病態学(臨床病態学)	1・2後		2								兼1
		生化学	1・2前		2					1			
		生化学実験	1・2前		1						1	1	
		小計(6科目)	—	2	8	0	0	0	5	0	2	0	兼1
	食品と衛生	食品学総論	1・2前	2			1						
		食品学実験	1・2前		1		1					1	
		食品学各論	1・2前		2		1						
食品加工学		1・2後		2								兼1	
食品の機能		2後		2		1							
食品衛生学		1・2後		2		1							
食品衛生学実験		1・2後		1		1					1		
	小計(7科目)	—	2	10	0	6	0	0	0	2	0	兼1	
栄養と健康	栄養学	1・2後	2							1			
	栄養学実験	1・2後		1						1	1		
	応用栄養学Ⅰ	2前		2						1			
	応用栄養学Ⅱ	2前		2						1			
	応用栄養学実習	2後		1						1	1		
	臨床栄養学	2前		2								兼1	
	臨床栄養学実習	2前		1							1	兼1	
	小計(7科目)	—	2	9	0	0	0	0	5	3	0	兼2	
栄養の指導	栄養教育論	1・2前	2			1							
	栄養指導論	1・2後		2		1							
	栄養教育論実習	2前		1		1					1		
	栄養指導論実習	2後		1		1					1		
	公衆栄養学	2後		2								兼1	
	小計(5科目)	—	2	6	0	4	0	0	0	2	0	兼1	
給食の運営	給食運営管理論	1・2後		2			1						
	給食運営管理論実習Ⅰ	2前		2			1				2		
	給食運営管理論実習Ⅱ	2通		1		1	1			2			
	給食運営管理論実習Ⅲ	2通		1		1	1			2			
	給食運営総合指導	1・2前		2						1		兼1	
	調理学	1・2前		2			1						
	調理学実習Ⅰ	1・2前		1						1		兼1	
調理学実習Ⅱ	1・2後		1			1			1				
	小計(8科目)	—	3	9	0	2	6	0	9	0	0	兼2	
関連科目	統計学	1・2前		2								兼1	
	化学	1・2前		2								兼1	
	健康管理概論	2後		2					1				
	管理栄養特殊講義	2後		2		2	2	1	3			兼2	
	特別演習	2通		4		2	2	1	3				
	小計(5科目)	—	0	12	0	4	5	2	6	0	0	兼4	
	中計(40科目)	—	11	58	0	16	16	7	24	0	0	兼13	
	合計(82科目)	—	13	137	0	18	18	8	27	0	0	兼60	
卒業要件及び履修方法													
必修科目13単位、語学基礎2単位以上、語学基礎と共通科目から合計14単位以上、専修科目48単位以上を修得し、合計64単位以上を修得する。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・ 専任教員の昇格により、「食物栄養学入門」「解剖生理学」「解剖生理学実験」「運動保健学」「生化学」「生化学実験」「健康管理概論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。

・ 新型コロナウイルス感染症対策(3密の回避等)等のため、以下の科目の配当年次の変更を行った。

「体育実技」「心理学」「食と観光実践」「社会福祉論」

・ カリキュラムの調整により、「情報処理実習I」の負担を1人増員した。

・ CAP制の導入により、以下の要件を卒業要件から削除した。

「2年次において科目区分を問わず合計20単位以上を修得する。」

【令和4年度】

(記入例)

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	75 科目	0 科目	82 科目	7 科目 [0]	75 科目 [0]	0 科目 [0]	82 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{82} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	16,526㎡	0㎡	0㎡	16,526㎡			
	運動場用地	8,345㎡	0㎡	0㎡	8,345㎡			
	小 計	24,871㎡	0㎡	0㎡	24,871㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	24,871㎡	0㎡	0㎡	24,871㎡			
(2) 校 舎	専 用	8,579.22㎡	0㎡	0㎡	8,579.22㎡			
	(8,579.22㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(8,579.22㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	9室	3室	6室	1室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	食物栄養学科 食物栄養学専攻			8 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕				電子ジャーナル	
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	食物栄養学科 食物栄養学専攻	103,000 [4,700] (102,341 [4,772])	123 [19] (127 [27])	11 [11] (12 [12])	400 (379)	9,300 (9,300)	240 (240)	
計	103,000 [4,700] (102,341 [4,772])	123 [19] (127 [27])	11 [11] (12 [12])	400 (379)	9300 (9,300)	0:00 (240)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	412.5㎡	70	138,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,519.56㎡	テニスコート 2面	グラウンド (運動場)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	※図書購入費は全体分 ※設備購入費は、開設前年度が生活科学科との合算分。開設年度、完成年度は食物栄養学科の単独分。
		教員 1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	8,300千円	8,300千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	3,900千円	2,000千円	2,200千円	
	学生 1人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		390千円	390千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		市一般財源、実験実習費、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 3 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	三重短期大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
法経科（第1部）	2	100	—	200	短期大学士（法経）	1.09	1.09		昭和44	三重県津市一身田中野157番地	定員変更（△50）
法経科（第2部）	2	100	—	200	短期大学士（法経）	0.55	0.55	令和3	昭和27	同上	
食物栄養学科 食物栄養学専攻	2	50	—	100	短期大学士（食物栄養学）	0.84	0.84		平成2年	同上	
生活科学科 生活科学専攻	2	100	—	200	短期大学士（生活科学）	1.08	1.08		平成2年	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 （専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<食物栄養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】		【令和6年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	橋本 博行 <令和3年4月> 農学博士 食品学総論 食品学実験 食品学各論 食品の機能 食品衛生学 食品衛生学実験 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	橋本 博行 <令和3年4月> 農学博士 食品学総論 食品学実験 食品学各論 食品の機能 食品衛生学 食品衛生学実験 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	教授	阿部(井上) 雅里 <令和3年4月> 博士(人間生活科学) 栄養教育論 栄養教育論実習 栄養指導論 栄養指導論実習 給食運営管理論実習Ⅱ 給食運営管理論実習Ⅲ 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	阿部(井上) 雅里 <令和3年4月> 博士(人間生活科学) 栄養教育論 栄養教育論実習 栄養指導論 栄養指導論実習 給食運営管理論実習Ⅱ 給食運営管理論実習Ⅲ 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	准教授	駒田 亜衣 <令和3年4月> 博士(健康科学) 給食運営管理論 給食運営管理論実習Ⅰ 調理学 調理学実習Ⅱ 給食運営管理論実習Ⅱ 給食運営管理論実習Ⅲ 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	駒田 亜衣 <令和3年4月> 博士(健康科学) 給食運営管理論 給食運営管理論実習Ⅰ 調理学 調理学実習Ⅱ 給食運営管理論実習Ⅱ 給食運営管理論実習Ⅲ 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	講師	相川 悠貴 <令和3年4月> 博士(体育科学) 解剖生理学 解剖生理学実験 運動保健学 生化学 生化学実験 健康管理概論 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	相川 悠貴 <令和3年4月> 博士(体育科学) 解剖生理学 解剖生理学実験 運動保健学 生化学 生化学実験 健康管理概論 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	講師	杉野 香江 <令和3年4月> 修士(医療栄養学) 栄養学 栄養学実験 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	杉野 香江 <令和3年4月> 修士(医療栄養学) 栄養学 栄養学実験 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	助教	飯田 津喜美 <令和3年4月> 短期大学士 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	飯田 津喜美 <令和3年4月> 短期大学士 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	助教	服部 知美 <令和3年4月> 修士(医療科学) 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	服部 知美 <令和3年4月> 修士(医療科学) 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
専任	助教	福安 智哉 <令和3年4月> 修士(栄養科学) 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門	福安 智哉 <令和3年4月> 修士(栄養科学) 特別演習 管理栄養特殊講義 食物栄養学入門						
兼任	教授(学長)	村井 美代子 <令和3年4月> 博士(文学) 英語講義	村井 美代子 <令和3年4月> 博士(文学) 英語講義						
兼任	教授(学生部長)	石原 洋介 <令和3年4月> 修士(経済学) キャリア形成セミナー 社会体験講座 単位互換科目Ⅰ 単位互換科目Ⅱ	長友 薫輝 <令和3年4月> 修士(社会福祉学) キャリア形成セミナー 社会体験講座 単位互換科目Ⅰ 単位互換科目Ⅱ						
兼任	教授(図書館長)	楠本 孝 <令和3年4月> 法学修士 農林体験セミナー 食と観光実践 食と観光実践 次世代産業実践 医療・健康・福祉実践	藤枝 律子 <令和3年4月> 修士(法学) 農林体験セミナー 食と観光実践 食と観光実践 次世代産業実践 医療・健康・福祉実践						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	花尻 奈緒子 <令和3年4月> 修士(人文科学)	兼任	講師	花尻 奈緒子 <令和3年4月> 修士(人文科学)						
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	大西 範和 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	講師	大西 範和 <令和3年4月> 博士(医学)						
		体育講義			体育講義						
兼任	講師	石川 拓次 <令和3年4月> 林-7健康科学修士	兼任	講師	石川 拓次 <令和3年4月> 林-7健康科学修士						
		体育実技			体育実技						
兼任	講師	狩野 幹人 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	講師	狩野 幹人 <令和3年4月> 博士(学術)						
		生命科学			生命科学						
兼任	講師	松井 博和 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松井 博和 <令和3年4月> 博士(工学)						
		自然と科学			自然と科学						
兼任	講師	盛田 健人 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	盛田 健人 <令和3年4月> 博士(工学)						
		情報処理実習Ⅰ			情報処理実習Ⅰ						
兼任	講師	眞田 耕輔 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	眞田 耕輔 <令和3年4月> 博士(工学)						
		情報処理実習Ⅰ			情報処理実習Ⅰ						
兼任	講師	松下 真也 <令和3年4月> 工学修士	兼任	講師	松下 真也 <令和3年4月> 工学修士						
		情報処理実習Ⅰ			情報処理実習Ⅰ						
兼任	講師	高瀬 治彦 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高瀬 治彦 <令和3年4月> 博士(工学)						
		情報処理実習Ⅰ			情報処理実習Ⅰ						
兼任	講師	大日方 真史 <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	大日方 真史 <令和3年4月> 博士(文学)						
		教育学			教育学						
兼任	講師	長島 洋 <令和3年4月> 体育学士	兼任	講師	長島 洋 <令和3年4月> 体育学士						
		生涯学習論			生涯学習論						
兼任	講師	上田 浩 <令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	伊藤 信也 <令和3年4月> 博士(文学)						
		差別と人権			差別と人権						
兼任	講師	松田 いりあ <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	講師	松田 いりあ <令和3年4月> 博士(学術)						
		ジェンダー論			ジェンダー論						
兼任	講師	望月 秀人 <令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	望月 秀人 <令和3年4月> 文学修士						
		歴史学			歴史学						
兼任	講師	山崎 智博 <令和3年4月> 経済学修士	兼任	講師	山崎 智博 <令和3年4月> 経済学修士						
		地理学 地域史			地理学 地域史						
兼任	講師	吉本 陵 <令和3年4月> 修士(学術)	兼任	講師	吉本 陵 <令和3年4月> 修士(学術)						
		哲学			哲学						
兼任	講師	岡野 智子 <令和3年4月> 人文科学修士	兼任	講師	岡野 智子 <令和3年4月> 人文科学修士						
		美学			美学						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	J. リチャーズ <令和3年4月> Master of Education (米國)	兼任	講師	J. リチャーズ <令和3年4月> Master of Education (米國)									
		英会話			英会話									
兼任	講師	岩本 篤子 <令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	岩本 篤子 <令和3年4月> 文学修士									
		フランス語Ⅱ			フランス語Ⅱ									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・昇格により相川悠貴講師を相川准教授に変更。
- ・学生部長の変更により、石原洋介教授を長友薫輝教授に変更。
- ・図書館長の変更により、楠本孝教授を藤枝律子教授に変更。
- ・石井浩講師就任辞退により、片山響講師に変更。
- ・林姿穂講師就任辞退により、英語を萩三恵講師に、実用英語を駒田ゆき子講師に変更。
- ・上田浩講師就任辞退により、伊藤信也講師に変更。

【令和4年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
4	2
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
2	1	2	3	8	0	2	2	1	3	8	0
(2)	(1)	(2)	(3)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
2	2	1	3	8	0	2	2	1	3	8	0
[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数**を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \textcircled{3} \text{合計(D)+(F)}}{(2) - \textcircled{2} \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目	
		選択	科目		選択	科目		選択	科目	
		自由	科目		自由	科目		自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食物栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD・SD活動推進委員会を年に2回開催しFD・SD活動の目標と計画等を管理するとともに、委員会のもとにFD・SDのワーキンググループ（以下、WG）が活動の推進を担っている。2020年度において、WG会議は18回開催している。委員会の各活動事項への教員の参加状況はほぼ100%である。FD・SD活動に対する教員の理解があり、常に高い参加状況を維持している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

上記aに記載済み

c 委員会の審議事項等

学生による授業評価、学長と学生による座談会、教員が授業工夫などを話し合うFD・SD活動交流集会、学外講師によるFD・SD研修会、FD・SD活動報告書の作成など、FD・SD活動に関わる本学の活動についての事項

② 実施状況

a 実施内容

- FD・SD活動交流集会（教員による授業工夫などを交流する）
- 学外講師を招いてのFD・SD研修会（SDGsやハラスメントなどへの理解を深め資質向上を図る）

b 実施方法

2019年度までは公開授業期間を終えた直後に、授業の工夫などを交流し資質向上を目指すFD・SD活動交流集会の取り組みを実施してきたが、2020年度はコロナ禍のため公開授業実施を取り止め、その代わりに授業評価アンケート結果をもとにFD・SD活動交流集会を実施した。なお、2021年度は2019年度までと同様に公開授業を実施する予定であり、そのあとに活動交流集会を実施し、授業の工夫など資質向上を目指す取り組みを進める。また、学外講師によるFD・SD研修会はハラスメントに関する共通理解を図ることで教員の資質向上につなげるという意図のもと、弁護士による講演を実施し、講演後は参加した教員全員のレポート提出を必須とした取り組みを行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD活動交流集会は2020年10月に開催し、教員ほぼ全員が参加した（1名のみ欠席）。学外講師によるFD・SD研修会は2021年3月に開催し、教員全員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD・SD活動交流集会では、話しやすい雰囲気を作るためグループワークを開催している。各グループにて授業の工夫、授業改善の具体的な手法などが検討され、実践的な授業改善の取り組みとして有効な場となっており、各教員が授業改善へとつなげている。また、学外講師によるFD・SD講習会の実施後、ハラスメントへの共通理解の浸透を図り、学生への理解を深めることに取り組む契機となっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期および後期の2回、アンケートを実施。また、ゼミアンケートも後期に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対して授業評価アンケート結果を返却し今後の改善等を含めたコメントを求めている。コメントを付記したアンケート結果は報告書として毎年度作成し、冊子化したものを図書館や大学生協にて閲覧できるようにしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年、4月に食物栄養学科を開設し新入生を迎え入れた。食物栄養学科では、食と健康に関する専門知識と技能を備え、地域社会の食や健康問題に貢献できる人材を育成することを目的としている。また、教育目標として、「①食を通じた豊かな人間形成と、食に関する知識と技能を融和させて実践することができる専門性の高い教育を行う。②科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解や対処ができる栄養士などの食のスペシャリストを育成する。③個人の食や健康問題に対応した栄養教育・栄養指導を実践できる能力を養い、地域社会の食や健康問題に貢献できる人材を育成する。」を掲げている。

以上のような設置の趣旨や目的を達成するために、新たに開講した「食物栄養学入門」というオムニバスの授業で、栄養士の仕事内容や、栄養士科目を学ぶ上で大切なポイントについて解説している。この授業により、新入生が栄養士科目を学ぶモチベーションが高まっていると考えている。また、学生約5名に1名の担任を配置することにより、随時、面談等が行える体制を構築しており、学生一人ひとりについて十分な学習効果が得られているかどうかを確認している。

以上のように、設置の趣旨・目的に基づき新学科を順調にスタートすることができた。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年12月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年12月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年に評価機関（一般財団法人 短期大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(設置および所掌事項)

第1条 本学の教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、三重短期大学FD・SD活動推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

委員会は、授業の内容及び方法の改善及び教員・職員の職務遂行能力の開発向上を図るための組織的な活動（以下、「FD・SD活動」という。）を推進するため以下の事項を実施するものとする。

- (1)FD・SD活動の基本方針の策定
- (2)FD・SD活動の実施計画の実行
- (3)調査・研究など、その他FD・SD活動推進にとって必要な事業の実施

(組織)

第2条 委員会は次の者をもって組織する。

(1) 学長、事務局長、学生部長、図書館長、地域連携センター長、法経科長、食物栄養学科長、生活科学科長、教養教育委員長、FD・SDワーキング・グループ長、大学総務課長

- (2) 学長の推薦に基づき教授会が承認した教員および職員若干名
(委員長)

第3条 委員長は、学長とする。

2 委員長は会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第4条 委員会は、必要に応じ、また、委員の要求があれば、委員長がこれを招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 議決は、出席委員の過半数を要し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員会の活動)

第5条 委員会が行うFD・SD活動は、本学の教育目標に即して行うものとする。

2 委員会は、FD・SD活動の実施及び結果の公表に係る基本方針を教授会に提案し、承認を受けるものとする。

3 委員会は、原則として毎年、FD・SD活動の結果を報告書にまとめて教授会に報告するとともに、公表するものとする。

4 委員会は、必要があれば、FD・SD活動に関する提案を、学長、教授会、各教育組織、各種委員会等に対し行うことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、大学総務課が行う。

(FD・SD活動ワーキング・グループの設置)

第7条 委員会に、FD・SD活動ワーキング・グループ(以下「WG」という。)を設置する。

2 WGは、FD・SD活動に関して、委員会から指示された事項について業務を行う。

3 WGは、次の者をもって組織する。

(1)委員会の委員の中から委員長が任命した教職員 若干名

(2)委員会以外の教職員の中から委員長の推薦に基づき教授会が承認した教職員 若干名

4 WGにグループ長を置く。グループ長は委員会の委員の中から委員長が任命する。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、委員長がこれを定める。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。